

第23期開放講座 「水と街道」だより ◇第3回◇

発行：国土交通省中部地方整備局
多治見砂防国道事務所
開放講座「水と街道」事務局

◇第3回開催概要◇

開催日時：令和3年12月9日(木) 10:00~12:00

内容：防災講座、閉講式

今年10月から始まりました本講座は、いよいよ今回(12月)が最終となりました。

＜開放講座「水と街道」とは＞

- ①砂防事業・道路事業の重要性について理解と協力を得ること
- ②受講生自らが地域づくり活動へ積極的に参加する「きっかけ」づくり
- ③地域住民とのコミュニケーションの促進

開放講座「水と街道」では、東濃地方・木曽南部地方を中心に砂防堰堤や道路工事の現場を訪れ、地域づくりを考えます。平成11年より開講し、ご好評いただくとともに受講生のOB団体が様々な地域づくり活動に取り組まれています。

防災講座

「マイタイムライン」を考えると題し、参加者の皆さんには、ご自宅からハザードマップをご持参していただき、住んでいるところが、どういうところか？いざという時、どのように行動すればよいのか？など考えながら、タイムラインを作成していただきました。



閉講式

事務所長より参加者の皆さんへ修了証書を授与させていただきました。



参加された皆様のご感想

・(開放講座に参加して)現場の進捗状況や最近の工法を見ることができ、たいへん勉強になった。

・(タイムラインを作成して)自分が住んでいる所のまわり、普段の状況をよく見ておいて、大雨の時の状況との違いをよく知っておく必要があると思った。

・(開放講座に参加して)中津川の四ツ目川遊砂工、今回の災害現場(中津川市落合)を見ることによって、自分が住んでいるところが、どのような地域なのかということがよく分かった。もっと現場を見て理解を深めていきたい。